

		講義日程・時間	
		8月 23 日 木 曜日	6 時間
1. 授業科目名	【選択】幼児期教育改革の最新動向(基礎)		
2. 担当教員名	秋川 陽一		
3. 授業の概要	少子化対策・働き方改革等を目指した「子ども・子育て支援策の拡充」、幼児期教育の内容・方法等の改善を目指した「新要領・指針の改定(改訂)」等、幼児期教育をめぐる様々な改革が急激に進んでいます。その最新動向に関する講義と参加者との討議によって、新しい保育実践を目指すために保育者として取り組むべき課題について学びます。		
4. 到達目標	様々な幼児期教育改革の動向を理解し、今後の保育実践の方向性と課題についての知見をもつ。		
5. 授業内容・授業方法等	コマ	授業内容	授業方法
	1	幼児期教育改革をめぐる最新動向 (近年の幼児期教育改革【子ども・子育て支援制度改革を含む】について整理を行い、その鳥瞰的な理解を目指す。)	講義
	2	幼児教育無償化問題を考える (なぜ、今、幼児教育の無償化が進められるのか、その政策の動向・背景などについて講義し、その意義と課題を理解する。)	講義
	3	保育現場における子ども・子育て支援の課題 (保育現場における子育て支援に関するいくつかの課題について、グループ討議を通じて理解を深める。)	グループ討議
	4	これからの幼児期教育の課題—まとめ (幼児期教育の改革動向を再確認し、今後の保育実践の課題について考える。)	討議 レポート試験
6. テキスト・参考文献等			
7. 成績、評価方法・基準	最終コマの20分程度を使ってレポート形式の試験を実施する。		
8・特記事項	幼児期の教育改革・子ども子育て支援制度改革の目指すものを全体的に理解し、それを踏まえてこれからの保育実践の方向性を考えたいと思います。		

		講義日程・時間	
		8月 24 日 金 曜日	6 時間
1. 授業科目名	【選択】幼児期教育改革の最新動向(実践)		
2. 担当教員名	秋川 陽一		
3. 授業の概要	幼児期教育の質向上、幼(保)小連携、園と家庭・地域との連携等への対応を踏まえ、新幼稚園教育要領・新保育所保育指針・新幼保連携型認定こども園教育・保育要領が改訂(改定)され、今年度から全面実施されました。その動向に関する講義と参加者のグループワーク・討議によって、新しい保育実践を目指すために保育者として取り組むべき課題について学びます。		
4. 到達目標	新要領・指針の内容・意義・課題などを深く理解し、保育実践の改善に活かす方策を考える。		
5. 授業内容・授業方法等	コマ	授業内容	授業方法
	1	新要領・指針の目指すもの(1)―改正論点の整理 (新要領・指針の改正されたポイントを整理し、その論点を講義し、保育実践における課題を考える。)	講義
	2	新要領・指針の目指すもの(2)―保育現場の対応 (改正に関わる論点について、グループ討議を行い、いくつかの論点について深く検討する。)	グループ討議
	3	幼児期教育の質向上をめぐる改革動向 (保育実践の質向上に関わる改革動向について整理し、課題提起を行う。)	講義
	4	幼児期教育の質向上に保育現場はどう取り組むか？ (保育現場において、保育実践の質向上にどう取り組むか、質疑・応答を行い、新たな知見を得る。)	討議 レポート試験
6. テキスト・参考文献等			
7. 成績、評価方法・基準	最終コマの20分程度を使ってレポート形式の試験を実施する。		
8・特記事項	新要領・指針の目指すことを確認し、保育実践改善の具体的課題についての知見を得られるようにしたいと思います。		